

小鳥 いい友クラブ 会報

2016年6月号
創刊号
広報部長 荻原

2016年6月5日 小平会長宅禽舎訪問
梅雨入り初日でしたが、晴れの暑い日に埼玉県本庄市の小平会長宅におじゃましました。



■日の丸鳥、南洋セイコー鳥、胡錦鳥を中心に繁殖していました。



○餌は市販の配合にシードを季節におおじて増量するそうです。以前は自家配合にこだわった時があったみたいですが、あまり関係ないそうです。

○発情飼料はミルワームを適量与えるだけで雛がふかしてから、エッグフードを与えるそうです。

○コツは鳥の時期に合わせて栄養価にメリハリをつける事、ミルワームに青菜やエッグフード、芋などを与えて育てた物を与えるそうです。その他、プラスリン、青菜は常時与えています。

■禽舎内は横飛びの自作箱で、どの鳥も落ち着いていることに驚きました。
※このツボ巣で繁殖していました。基本は自育で、あちこちに雛たちが巣立っていました。



■大変、大事に育てている印象を受けました。最後に世話をする時期を決めてあまり期待し過ぎない事が雛を採る秘訣みたいです。

次回の訪問もご期待ください。